

【活動計画】

1 種苗生産

・相良港に生息する幼体を採取し、石に接着し保護籠に入れて港内で育成する。また砂地が多い港内にコンクリート塊を設置し育成礁とする。

2 種苗設置

・相良港に生息する幼体を採取し港内港外宇留井島に投入し、一部は保護籠で食害から守る。

3 母藻投入

・相良港沖で子囊班の発達した母藻を採取し港内港外に投入する。

4 食害生物の除去

・刺し網によりブダイ、ニザダイ、メジナ、タカノハダイなどの食害魚を駆除する。

5 モニタリング

・港内に1点、港外に9点、宇留井島に1点合計11点の観測基点を設け、景観被度を計測する。

●令和5年度の実績

【実績】

1 種苗生産



■幼体を石に接着



■保護籠に入れて港内に設置



■方塊を設置し育成礁に

2 種苗設置



■種苗設置(港内外、宇留井島)

3 母藻投入



■港外へ向かう

4 食害生物の除去



■毎回数十尾が捕獲されます

5 モニタリング



■毎年3回/年実施している

【これからの課題】

1. 港外と宇留井島は毎年秋になると設置したカジメは全滅する。原因は高水温、食害魚、波浪が複合的に作用していると思われる。
2. 今年度の特に夏の水温が高く、港内のカジメもほとんどなくなり、毎年船底に繁茂する幼体もないため、

- 近隣の漁港に協力を求めたところ幼体採取の許可がとれた、このような協力をもっと広域のかつ永年続けられるような体制を築きたい。
3. カジメは高水温に弱いため、他の大型藻類にも目を向けて伊浜に適した種類を模索する。